

感性品質による自動車内外装の質感向上

～評価体系と「パーシブド・クオリティ手法（感性品質）」による乗用車開発への適用事例～

日時
2018年 2月21日（水）
10：30～16：30

税込受講料

1名 47,520円
2名以上1名 43,200円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

乗用車の市場競争力を高める上で内外装の質感向上は近年、益々重要な要素となって来ています。これは乗用車市場の成熟化によって、単に道具としての価値や期待だけでなく、感性的な魅力が差異化の大きな要素となって来ています。しかし、従来の品質管理手法は客観的な指標である「物的価値」を対象を絞ってきた為に、主観的な価値判断の領域に発展させる事が難しいものでした。本セミナーでは、すでに18年間に渡り実務適用され成果を上げてきた「パーシブド・クオリティ手法（感性品質）」の乗用車開発への適用事例を取り上げ、製品評価手法としての概念及び方法論について紹介を行うと共に、それぞれの企業特性に応じた効果的な適用方法についてのヒントを提供します。

講師：片岡 篤氏 日本大学芸術学部デザイン学科 講師

（元）日産自動車（株）パーシブド・クオリティ部 主担 感性品質アドバイザー

プログラム

乗用車開発の概要

1. はじめに
2. 経緯
3. 品質管理の視点
4. 感性とは
5. 日産PQの歴史

経営上の役割

1. 組織的位置付
2. 適用範囲の決定
3. 戦略の重要性
4. 適用事例
5. 技術的連携
6. 東京モーターショーの動向

評価体系

1. PQ定義とは
2. 評価手法の特徴
3. 評価スケール
4. ウェイト
5. 検証プロセス

評価演習

1. コーチング
2. グループ評価
3. 合意形成

まとめ・質疑

質疑応答 【事前アンケートのご質問事項を解説致します】

内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承願います。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

E-mail: education@ebrain-j.com

<http://www.ebrain-j.jp/>

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 感性品質による自動車内外装の質感向上

セミナーコード

1101-180221

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。

2018/2/21 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課（正式名称）	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				